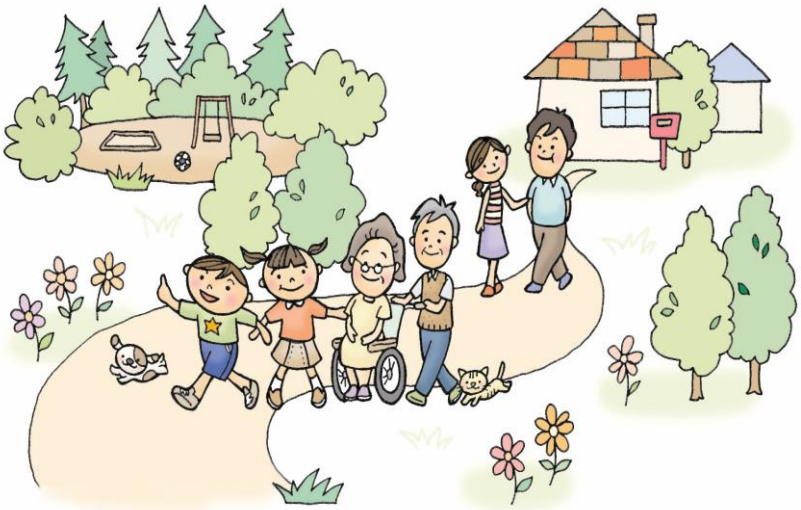
令和２年度
八女市社会福祉協議会
事業報告書



第２次八女市地域福祉計画・地域福祉活動計画

基本理念・基本目標

基本理念

心豊かに、共に支えあい、
安心して健やかに暮らせる、優しいまち 八女

基本目標１　相談しやすい雰囲気づくり
基本目標２　連携した支援ができる体制づくり
基本目標３　絆を深め孤立化を防ぐ地域づくり
基本目標４　社会参加の意識づくり

令和２年度　事業報告書

１　事業の総括

令和2年4月7日に発令された1回目の緊急事態宣言以降、解雇や離職、休職等により、生活福祉資金緊急小口資金等特例貸付の相談件数及び申込み件数が急増し､総力をあげて申請手続き業務を行った。12月24日には福岡県から居住支援法人の指定を受け、新たに生活困窮者に対する入居前の相談対応をはじめ、貸付事業を実施する中で把握できた生活困窮の課題に加えて、8050問題やひとり親世帯が抱える不登校問題、就労できずに深刻な貧困に陥っている世帯等の相談支援に取り組む等、権利擁護体制を拡充し、包括的な支援体制の整備に努めた。

7月3日から各地で大雨が続いた「令和2年7月豪雨災害」では、八女市でも床上浸水25件、床下浸水15件の被害が発生した。本会では7月8日から9日にかけて、新型コロナウイルスによる感染リスクにも備えながら、災害時相互協力協定団体（八女青年会議所9名）及び八女市社会福祉法人連絡会（レスキュー部会7名）と連携し、立花町山下地区の床上浸水被害者宅において被災地支援活動を行った。矢部地区においても、特定非営利活動法人「がんばりよるよ星野村」と連携し、床下土砂の除去等の活動を行った。他にも、7月14日から7日間にわたり、大牟田市社会福祉協議会災害ボランティアセンターに職員を派遣し、センターの運営支援を行った。

小地域福祉活動においては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、サロン活動や福祉委員活動等、地域における様々な福祉活動の自粛を余儀なくされ、今後、感染防止に留意したうえでどのように推進していくのかが喫緊の課題であることを確認した。さらに、八女市より受託した生活支援コーディネーターを中心に作成した「ゴミ出し支援事業実態調査」及び「買い物環境等地域課題に関する実態調査」を通じて地域課題を整理し、その解決のために、生活支援コーディネーター及び相談支援包括化推進員（まるごとサポーター）、ボランティアコーディネーターの三職種の活動を拡充しながら、「互助」や「共助」の層を厚くする取り組み（生活支援サービス）の基盤固めを行った。

２　各事業の実績報告

（１）総務部門

①　理事会　　5　回（1 回を書面表決にて開催）
②　三役会　　5　回
③　評議員会　　5　回（2 回を書面表決にて開催）
④　監査　　4　回（5 日間）
⑤　委員会

ア　福祉サービスに関する苦情解決委員会　　0　回
イ　評議員選任・解任委員会　　1　回
ウ　事務改善委員会　　0　回
エ　経費削減委員会　　0　回
オ　第 2 次八女市地域福祉計画・地域福祉活動計画推進委員会
　今年度は市担当課と協議のうえ、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施しないことが決定された。
カ　特別養護老人ホームゆいのもり入所検討委員会　　2　回
新規　キ　授産所麻生園移転に関する委員会　　3　回

⑥　諸規程の整備

⑦　人事、給与

ア　顧問社会保険労務士の助言による適切な労務管理の実施

⑧　予算、決算及び経理

ア　顧問税理士の助言による消費税及び法人税納付関連事務

イ　社会福祉協議会モデル経理規程に則った適切な財務・会計事務

⑨　職員の研修

ア　全体研修

実施日	内　　容	参加者
11 月 13 日（金）	「差別や偏見の解消のために」 講師／九州大谷短期大学非常勤講師　組坂幸喜　氏	54 名

イ　職種別研修

○　総務　　今年度は実施していない。

○　地域福祉

実施日	内　　容	参加者
8 月 19 日（水）	生活支援コーディネーター・相談支援包括化推進員合同研修会 「社会福祉法の改正と重層的支援体制整備事業」 講師／大牟田市役所　梅本政隆　氏	18 名

○　在宅福祉　　今年度は実施していない。

ウ　新任研修

○　県社協主催の研修会へ参加

2 人派遣予定であったが、新型コロナウイルス感染症予防対策のため中止した。

⑩　管理職会議

毎月 1 回定例にて開催。事業の進捗状況、連絡調整事項等について協議。昨年度に引き続き、経営プロジェクト会議を設置し、次年度以降の収支をシュミレーションし、今後の事業展開等について協議した。

（２）地域福祉活動部門

①　広報啓発活動の充実　（ふれあいのまちづくり事業）

拡充　ア　やめ社協だよりの発行（年 11 回）

（ア）地域福祉活動や行事の案内、報告及び各種福祉情報を掲載することを目的に 6 ページを基本とし、発行した。

（イ）役職員による広報編集会議の開催　11 回

輪番制による支所広報担当者による原稿作成と会議への参加を得て、内容の充実に努めた。

○　会議メンバー（8 名）：常務理事　理事（1 名）　事務局長　総務課長　福祉課長
（本所）地域福祉係長　（本所・支所）広報担当者

（ウ）視覚障がいのある人等への情報提供を行う音声コードの掲載を開始した。

イ　社協ホームページの活用

社協だよりの発行にあわせて更新を行う等、ホームページの適切な管理に努め、最新の情報提供を行った。

ウ　社協事業パンフレットの活用

民生委員児童委員連絡協議会等の会議の中で、パンフレットの説明を行う等、社会福祉協議会の事業啓発を行った。

エ　メディアの活用

新型コロナウイルス感染症の影響で生活に困っている人を対象にした生活福祉資金緊急小口資金等特例貸付の利用状況等について、新聞社を通じて積極的な情報提供及び資金の周知等に努めた。

（ア）4 月 26 日（日）　西日本新聞地域版掲載

② 福祉総合相談センター事業

ア　本所・各支所に福祉総合相談センターを設置し、子どもから高齢者、障がい者、ひとり親家庭、生活困窮者等の様々な相談対応及び関係機関との連携を強化した。　（件）

相談区分	高齢者	一人親家庭	児童	障がい	生活困窮	その他	合　計
本所	54	18	15	120	838	49	1,094
上陽	83	17	14	191	75	59	439
黒木	262	6	0	109	190	75	642
立花	77	1	0	24	40	10	152
矢部	59	0	0	2	2	2	65
星野	78	0	0	31	22	1	132
合　計	613	42	29	477	1,167	196	2,524
前年度件数	585	51	44	271	157	379	1,487
比較増減	28	△9	△15	206	1,010	△183	1,037

イ　関係機関との情報交換及び連携強化による相談支援体制の充実

（ア）介護長寿課と地域包括ケアシステム構築に向けた連携

八女市地域包括支援センター主催の小地域・日常生活圏域ケア会議に参加し、関係機関と連携しながら、高齢者の実態把握や自立支援に向けた個別事例の検討及び地域課題や地域で必要な資源の把握等に努めた。

（イ）障がい者相談支援事業所との連携

八女地区障害者基幹相談支援センターリーベル等の関係機関と連携しながら、障がい児者の個別課題の解決に努めた。

（ウ）八女市民生委員児童委員連絡協議会との連携

民生委員児童委員連絡協議会校区定例会への参加及び各種事業の推進を行った。

（エ）西日本新聞地域見守り隊との連携　　活動件数／2 件

新聞が数日溜り所在不明になった際に連絡をもらい、アウトリーチによる安否確認を行う等、孤独死防止課題解決に努めた。

黒木地区では、迅速な対応により体調が悪化し動けなくなっていた高齢者の発見と治療につながった。

③　暮らしの相談事業の実施（ふれあいのまちづくり事業）

ア　ふれあい福祉センター相談事業（心配ごと相談・無料法律相談・司法書士相談）

（ア）各種相談事業　（件）

本所／支所	本　所	黒木支所	上陽支所	立花支所	合計
心配ごと相談（水曜日）	第 1･3･5	第 3	第 4	第 2	
相談件数	17	5	4	3	29
前年度件数	14	7	1	2	24
比較増減	3	△2	3	1	5
法律相談（金曜日）	第 2	第 3	第 4		
相談件数	51	43	44		138
前年度件数	56	46	35		137
比較増減	△5	△3	9		1
司法書士相談（金曜日）	第 3	第 2			
相談件数	20	6			26
前年度件数	29	6			35
比較増減	△9	0			△9

※司法書士相談については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、司法書士会の意向により、4 月～6 月の相談は中止した。

（イ）心配ごと相談員研修会の開催及び各種研修会へ参加（前年度 2 回実施／比較増減 0）

実施日／参加日	研修種類	内　　容	参加者
8 月　4 日（火）	内部研修	「年金問題について」	15 名
3 月　4 日（木）	内部研修	「ＤＶにまつわる法的問題」	18 名

※外部研修については、福岡県弁護士会筑後部会主催の研修会に参加予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため不参加。

④　生活支援体制整備事業の実施（市委託事業）

生活支援コーディネーターを配置し、関係機関及び団体と連携しながら、地域課題を整理し、生活支援体制の整備をすすめた。

ア　生活支援コーディネーターの配置　8 名

（ア）第 1 層生活支援コーディネーターを 1 名配置

エリア	配置数	配属先
八女市全域	1 名	本　　所

（イ）第 2 層生活支援コーディネーターを 7 名配置

エリア	配置数	配属先	エリア	配置数	配属先
旧八女市地域	2 名	本　　所	上陽町地域	1 名	上陽支所
黒木町地域	1 名	黒木支所	立花町地域	1 名	立花支所
矢部村地域	1 名	矢部支所	星野村地域	1 名	星野支所

（ウ）生活支援コーディネーター連絡会の開催（月１回）

生活支援コーディネーター同士の情報共有及び地域課題の共有化を図りながら、課題解決のための手法等を協議する場として、地域包括支援センターの参加を求め、毎月第３金曜日に連絡会を開催した。

（エ）生活支援コーディネーター内部研修会の開催

実施日	内　　容	参加者
8 月 19 日（水）	◎講義 生活支援コーディネーター・相談支援包括化推進員合同研修会 「社会福祉法の改正と重層的支援体制整備事業」 講師／大牟田市役所　梅本政隆 氏	18 名

（オ）外部研修会への参加

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、外部研修への参加実績なし。

拡充 イ　地域ニーズと資源の状況の見える化、問題提起（調査・分析）の実施

（ア）ふれあいサロンに継続的に通い、住民主体の活動状況把握と高齢者の生活ニーズや地域資源（サロン以外の地域のつどいの場）について、アセスメントを実施した。

エリア	実施箇所数		
本　所	4 カ所	上　陽	8 カ所
黒　木	5 カ所	立　花	8 カ所
矢　部	7 カ所	星　野	9 カ所

（イ）「地域のつどいの場」への情報提供及びボランティア活用等の支援

地域資源である地域のつどいの場を把握するため、地域に出向いて、つどいの場の取材を行い、情報提供のツールとして「資源マップ」を作成し活用した。

（ウ）地域資源情報冊子の更新

平成 30 年度に作成した食料品や日用品の配達等を一覧化した地域資源情報データを地元商店への訪問を通じて、随時更新に努めた。

（エ）八女市ケアトランポリン教室開催への協力

地域におけるつどいの場の調査とあわせて、市介護長寿課と連携しケアトランポリン教室(6 カ所)の開催に向けた協力を行った。

ウ　八女市地域包括支援センターとの連携

（ア）小地域ケア会議への参加

（イ）日常生活圏域ケア会議等への参加（隔月開催）

（ウ）自立支援型小地域ケア会議への参加

実施日	内容
6 月 16 日（火）	2 事例検討　旧八女（川崎・岡山地区）
7 月 21 日（火）	2 事例検討　旧八女（福島・忠見地区）
8 月 18 日（火）	2 事例検討　旧八女（忠見・川崎地区）
9 月 15 日（火）	2 事例検討　旧八女（福島地区）
10 月 20 日（火）	2 事例検討　上陽地区・星野地区
11 月 17 日（火）	2 事例検討　旧八女（長峰・岡山地区）

12 月 15 日（火）	2 事例検討　旧八女（福島地区）・上陽地区
1 月 19 日（火）	2 事例検討　立花地区・黒木地区

（エ）八女市主任ケアマネ会への参加

11 月 19 日に開催された主任ケアマネ研修会に参加し、地域共生社会の実現に向け、八女市内の主任ケアマネジャーと情報交換を行い、社会資源等の情報共有を図った。

エ　訪問支援（アウトリーチ）による生活課題、支援ニーズの把握

福祉部会・福祉ネットワーク推進委員会等の小地域福祉活動の支援をはじめ、地域に出向くことで、より生活に密着した地域の中で信頼関係づくりを行いながら、必要な支援や働きかけにより問題解決に努めた。

オ　住民や地元商店等と連携した買い物支援の展開

（ア）矢部地区の買い物支援（H30.3.29 開始）

ゆいのもり敷地内において、地元商店の協力による食品等の試験的販売を毎週火曜と木曜日に実施した。

販売日数	利用者延べ人数	1 日の平均利用者数
74 日	597 人	8.0 名

拡充（イ）新たな買い物支援地区のモデル化の検討

移動販売担当者へ現在の稼働状況等についてヒアリングを行い、移動販売稼働地点を地図上にマーキングし、上記の食料品や日用品の配達等を一覧化した地域資源情報データと対比させて、買い物支援が必要な地域の把握を行うとともに、「買い物環境等地域課題に関する調査報告書」を作成し、課題の整理を行った。

カ　ボランティアセンターとの連携による生活支援ボランティア養成講座等の開催

（ア）生活支援ボランティア活動の推進

サロンアセスメント等で表面化された生活課題に対して、生活支援ボランティアの登録を推進するため、旧八女市エリアにおいて説明会を開催し、4 名の方にボランティア登録をしていただいた。

実施日	内　　容	参加者
8 月 26 日（水）	「事業実績及び支援員登録等について」	4 名

新規 キ　生活支援サービス事業（お助けサポート事業）の試行的実施

次年度からの本格的実施を見据えて、試行的な取り組みとして、旧八女市エリアを限定に布団乾燥やゴミ出し、買い物代行等、生活上のちょっとした困りごとを解決するために、市民参加による生活支援サービスを実施した。8 月までは内容ごとの支援時間や需給調整等を確認するため、生活支援コーディネーターを中心に支援を行った。9 月からは 8 月下旬に開催した、協力者登録推進のための説明会を経て、登録ボランティアにも協力いただきながら、具体的支援を実施した。

（ア）支援実績

支援内容	対象者	件数
ゴミ出し支援	日常生活自立支援事業利用者等	3 件
布団乾燥	日常生活自立支援事業利用者	16 件

買い物代行	日常生活自立支援事業利用者	1 件
草刈り（小規模）	つどいの場利用者	1 件
つどいの場送迎	つどいの場利用者	62 件

（イ）協力者登録の推進

○　説明会の開催

実施日	内　　容	参加者
8 月 26 日（水）	「事業実績及び支援員登録等について」	4 名

○　協力者登録数

登録エリア	登録者数
旧八女	4 名

新規　⑤　八女市ごみ出しサポート事業（市委託事業）

ア　実態調査報告書の作成

民生委員児童委員連絡協議会と連携しながら、高齢者世帯を中心に、ごみ出し支援を必要とする世帯の実態把握及び地域のごみ出し支援体制の調査を行い、包括的な生活支援体制を整備することを目的に、民生委員児童委員 187 名に訪問及び電話よる聞き取りを実施した。民生委員児童委員よりあげられたごみ出しが困難と思われる 74 名への訪問による聞き取りを行い、7 件の困難世帯があることを確認した。それらをまとめたものとして、「令和 2 年度ごみ出し支援事業の実施に向けた実態調査報告書」を作成した。

イ　生活支援ボランティア登録の推進

次年度からの具体的な支援（可燃ごみ出し支援）の実施に向けて、広報やめ及び社協だよりで生活支援ボランティアの募集を行い、22 名の方に登録いただいた。

⑥　地域介護予防活動支援事業（市委託事業）

ア　介護予防のための市内ふれあいサロン会場への専門指導士の派遣

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、7 月より専門指導士の派遣を行った。

（ア）健康運動指導士の派遣　（ 回 ）

区　分	八女	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合計
本年度	7	4	8	4	8	6	37
前年度派遣数	22	10	21	8	8	13	82
比較増減	△15	△6	△13	△4	0	△7	△45

（イ）歯科衛生士の派遣　（ 回 ）

区　分	八女	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合計
本年度	4	2	0	1	4	0	11
前年度派遣数	11	4	7	6	6	1	35
比較増減	△7	△2	△7	△5	△2	△1	△24

（ウ）栄養士の派遣　　（ 回 ）

区　分	八女	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合計
本年度	5	1	0	3	4	1	14
前年度派遣数	9	5	0	6	7	2	29
比較増減	△4	△4	0	△3	△3	△1	△15

（エ）認知症予防指導士の派遣　　（ 回 ）

区　分	八女	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合計
本年度	3	5	1	4	8	1	22
前年度派遣数	10	4	2	1	6	3	26
比較増減	△7	1	△1	3	2	△2	△4

イ　八女市及び生活支援コーディネーターとの連携による人材育成

（ア）地域介護予防サポーター養成講座の開催（※令和元年度講座の振替開催）

期　日	内　　容	参加者
12 月 16 日（水）	「栄養、食生活、口腔機能向上」 講師　くまもと健康支援研究所	27 名
12 月 24 日（木）	「良好なコミュニケーション、通いの場の必要性」 講師　くまもと健康支援研究所 「生活支援コーディネーターの活動紹介」 説明　第 2 層生活支援コーディネーター	32 名

（イ）介護予防講演会の開催

市担当課と協議し、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

⑦　日常生活自立支援事業（八女あんしんサポート事業）の推進

ア　専門員の配置 6 名（前年度数 7 名／比較増減△1）、生活支援員 43 名（前年度数 47 名／比較増減△4 名）を配置し、県基幹型社協として運営した。

（ア）本所、星野支所、黒木支所にそれぞれ専門員を配置し、担当エリア制を導入

本所・支所	専門員数	専門員担当エリア	生活支援員数
本所	4	旧八女市＋立花	26 名
黒木	1	黒木＋矢部	9 名
星野	1	上陽＋星野	8 名

（イ）専門員連絡調整会議の開催（月 1 回）

利用者の情報共有化と円滑な事業運営を行うために、毎月第 2 水曜日に定例の会議を開催した。

イ　福祉サービスの利用手続きや日常的金銭管理の支援

（ア）契約の状況　総数 125 名（前年度契約者数 107 名／比較増減 18 名）、内八女あんしんサポート（独自事業）契約者数 1 名（前年度契約者数 1 名）

○　認知症高齢者　（名）

区　分	本所	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合　計
認知症高齢者	24	0	11	6	3	3	47
前年度契約数	18	0	8	5	3	3	37
比較増減	6	0	3	1	0	0	10

○　知的障がい者　（名）

区　分	本所	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合　計
知的障がい者	17	0	4	3	1	1	26
前年度契約数	20	0	4	3	1	1	29
比較増減	△3	0	0	0	0	0	△3

○　精神障がい者　（名）

区　分	本所	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合　計
精神障がい者	38	1	9	3	0	1	52
前年度契約数	29	1	8	2	0	1	41
比較増減	9	0	1	1	0	0	11

（イ）新規及び解約件数の前年度比較　（名）

区　分	本所	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合　計
新　規	25	0	6	3	0	1	35
前年度契約数	24	0	3	6	0	1	34
比較増減	1	0	3	△3	0	0	1
解　約	15	0	2	0	0	0	17
前年度解約数	9	1	3	3	1	1	18
比較増減	6	△1	△1	△3	△1	△1	△1

（ウ）利用契約者への支援回数（複数）　（件）

支援内容	本所	上陽	黒木	立花	矢部	星野	合計
生活費等の受渡し	1,335	11	425	188	34	122	2,115
各種支払い	972	1	426	162	34	111	1,706
生活費等を金庫保管	469	0	1	20	0	5	495
相談・調整	5	2	5	46	2	1	61
行政・福祉サービスの手続き	0	0	7	7	17	0	31
支援者会議等への出席	1	0	0	7	0	1	9
事業の問合せ	0	0	0	0	0	0	0
成年後見制度の問合わせ	0	0	0	0	0	0	0
入金（給料等）	164	0	43	0	0	5	212
通帳等一時持ち出し	1	2	0	2	2	0	7
その他	2	0	0	12	8	0	22
合　計	2,949	16	907	444	97	245	4,658
前年度件数	2,610	50	1,275	436	164	282	4,817
比較増減	339	△34	△368	8	△67	△37	△159

ウ　生活支援員養成講座の開催

期　日	内　容	参加者
11 月 11 日（水）	講義「認知症の理解と支援」	14 名
11 月 18 日（水）	講義「障がいの理解と支援」	15 名
11 月 25 日（水）	講義「生活支援員の活動」／事務説明 （※参加者のうち、生活支援員として　5 名が登録）	11 名

エ　生活支援員研修会及び連絡会の開催

上記の生活支援員養成講座と同時開催

⑧　権利擁護事業の実施

ア　法人後見支援事業の実施

（ア）八女市社協権利擁護センターの設置運営

日常生活上の判断に不安がある方に対する相談支援をはじめ、成年後見制度等を活用し、財産管理や身上保護を中心とする権利擁護サービスを提供するセンターの運営に努めた。

○　運営委員会及び審議委員会の開催

運営委員 6 名、審議委員 6 名からなる各委員会を設置し、審議委員会(6 回)を開催した。運営委員会は、新型コロナウイルス感染症拡大防止により開催していない。

○　検討委員会の設置

法律関係者（弁護士）を成年後見等特別アドバイザーに任命し、委員 6 名からなる検討委員会を設置し、検討委員会（5 回）を開催した。委員会では成年後見人等の受任候補の依頼を受けた際に審議委員会の議案に諮る内容の協議を行った。

（イ）連絡調整会議の開催（月 1 回）

利用者の情報共有化と円滑な事業運営を行うために、毎月第 2 水曜日に定例の会議を開催した。

（ウ）成年後見制度に基づく法定後見事業及び任意後見事業の実施

八女市地域包括支援センター等の関係機関をはじめ、親族からの成年後見制度の利用等の相談に対応した。

○　相談実積

・初回相談　26 件(前年度 21 件/比較増減 5 件)　　（回）

内容／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
法定後見	1	0	0	2	2	2	1	3	5	1	3	2	22
任意後見	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	1	0	3
その他	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
合　計	1	0	0	2	3	2	3	3	5	1	4	2	26
前年度件数	0	0	0	4	3	3	3	0	3	1	1	3	21
比較増減	1	0	0	△2	0	△1	0	3	2	0	3	△1	5

・月別相談件数　105 件（前年度 43 件/比較増減 62 件）　（件）

件数／月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
相談数	2	3	1	4	3	13	18	18	15	8	12	8	105
前年度件数	0	0	0	7	6	7	4	0	3	4	6	6	43
比較増減	2	3	1	△3	△3	6	14	18	12	4	6	2	62

○　法定後見受任件数　9 件　（件）

類型	後見	保佐	補助	合計
認知症	3	0	0	3
知　的	2	2	0	4
精　神	0	1	1	2
合　計	5	3	1	9
前年度件数	2	0	0	2
比較増減	3	3	1	7

○　任意後見契約締結件数　1 件　（前年度 1 件/比較増減 0）

○　広報啓発活動の推進

権利擁護センターのパンフレットを活用し、権利擁護センターの事業紹介をはじめ、八女市地域包括支援センターや八女市民生委員児童委員定例会へ出向き、事業周知や成年後見制度に関する啓発を行った。

期　日	訪問先
9 月 15 日（火）	星野地域包括支援センター
9 月 15 日（火）	上陽地域包括支援センター
9 月 16 日（水）	矢部地域包括支援センター
9 月 16 日（水）	黒木地域包括支援センター
9 月 16 日（水）	立花地域包括支援センター
1 月 12 日（火）	上妻校区民生委員児童委員定例会

（エ）市民後見人等養成研修会及び職員研修会の開催

2 月に市民公開講座として「暮らしと福祉の講座」を開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大にともない、講座開催を中止した。

（オ）八女市成年後見制度利用促進基本計画の実施に向けた体制整備

来年度からの八女市成年後見制度利用促進基本計画を見据えた取り組みとして市担当課の要請により、八女市成年後見制度利用促進基本計画及び中核機関設置に向けた課題や意見交換等の協議を行った。

期　日	内　　容	参加者
6 月 19 日（金）	第 1 回八女市成年後見制度利用促進基本計画策定委員会	16 名
9 月 18 日（金）	第 2 回八女市成年後見制度利用促進基本計画策定委員会	15 名
12 月 18 日（金）	第 3 回八女市成年後見制度利用促進基本計画策定委員会	15 名

（カ）中核機関設置に向けた体制整備

来年度からの中核機関設置を見据えた取り組みとして市担当課の要請により、市長申立てに係る事例について、受任者調整会議を想定した担当者間による協議を行った。

期　日	内　　容	参加者
9 月 29 日（火）	中核機関の受任者調整における打合せ	4 名
11 月 18 日（水）	（試行的）受任者調整会議の実施	4 名

新規　⑨　居住支援体制整備の促進

ア　居住支援法人活動の実施（令和 2 年 12 月 24 日福岡県指定）

今年度は実施初年度にあたり、社協だよりやホームページをはじめ、様々な広報媒体を活用し、八女市担当部署を中心に事業周知の徹底に努めるとともに、住宅確保要配慮者の入居に係る相談支援を行った。

イ　事業実績（住宅確保要配慮者に対する賃貸住宅の供給の促進に関する法律に基づく実績）

業務種別	業務内容	対象者の範囲及び人数
法第 42 条第一号に掲げる業務	実施なし	
法第 42 条第二号に掲げる業務	住まい探しに係る相談	住宅確保要配慮者（生活困窮者）5 人（延べ 18 人）
法第 42 条第三号に掲げる業務	実施なし	
法第 42 条第四号に掲げる業務	居住支援法人の活動に係る保証会社との債務保証等に関する推進会議の実施	保証会社及び市担当者 3 人

※法第 42 条第一号に掲げる業務

「登録事業者からの要請に基づき、登録住居入居者の家賃債務の保証を行う業務」

法第 42 条第二号に掲げる業務

「賃貸住宅への円滑な入居の促進に関する情報提供や相談援助を行う業務」

法第 42 条第三号に掲げる業務

「賃貸住宅に入居する要配慮者の生活支援等を行う業務」

法第 42 条第四号に掲げる業務

「上記に掲げる 3 業務に附帯する業務」

ウ　支援により賃貸住宅入居に至った件数（入居契約件数）

相談のみで入居実績はなし

⑩　福祉資金貸付事業

低所得者世帯、高齢者及び障がい者世帯等への資金の貸付を行うとともに、借受世帯の自立更生を促進した。

ア　生活福祉資金貸付業務（県社協からの事務委託）

資金種類	貸付額	件　数	内訳
生活福祉資金（通常）	4,529,000 円	10 件	教育支援資金 7 件／4,052,000 円 緊急小口資金 2 件／200,000 円 福祉費 1 件／277,000 円
合　計	4,529,000 円	10 件	
前年度貸付金額	2,150,000 円	6 件	教育支援資金 3 件　／1,850,000 円 緊急小口資金 3 件／ 300,000 円
比較増減	2,379,000 円	4 件	

イ　生活福祉資金（特例貸付）業務（県社協からの事務委託）

資金種類	貸付申請額	件　数	不承認額	件　数
福祉資金（緊急小口資金）	63,570,000 円	342 件	0 円	―件
総合支援資金（初回）	100,540,000 円	197 件	0 円	―件
総合支援資金（延長貸付）	41,690,000 円	83 件	8,190,000 円	17 件
総合支援資金（再貸付）	21,240,000 円	43 件	0 円	―件
合　計	227,040,000 円	665 件	8,190,000 円	17 件
前年度貸付金額	200,000 円	1 件	―円	―件
比較増減	226,840,000 円	664 件	8,190,000 円	17 件

○　生活福祉資金（特例貸付）相談件数実績内訳　（件）

資金種別	件数内訳	本所	上陽	黒木	立花	矢部	星野	実績
福祉資金（緊急小口資金）	相談対応件数	418	4	35	6	1	4	468
	借入申込件数	305	3	25	5	1	3	342
総合支援資金(生活支援費)	相談対応件数	189	1	17	4	1	2	214
	借入申込件数	177	1	14	2	1	2	197
総合支援資金（延長貸付）	相談対応件数	77	0	4	1	0	1	83
	借入申込件数	77	0	4	1	0	1	83
総合支援資金（再貸付）	相談対応件数	41	0	2	0	0	0	43
	借入申込件数	41	0	2	0	0	0	43

○　生活福祉資金（特例貸付）申込者居住地件数内訳　（件）

居住地	本所				上陽				黒木			
	小口	総合	延長	再貸付	小口	総合	延長	再貸付	小口	総合	延長	再貸付
旧八女	237	139	59	31	0	0	0	0	1	2	0	0
上陽	10	6	4	1	3	1	0	0	2	1	1	0
黒木	15	10	7	4	0	0	0	0	22	11	3	2
立花	27	13	5	3	0	0	0	0	0	0	0	0
矢部	5	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
星野	11	6	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0

居住地	立花				矢部				星野			
	小口	総合	延長	再貸付	小口	総合	延長	再貸付	小口	総合	延長	再貸付
旧八女	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
上陽	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
黒木	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
立花	5	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
矢部	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
星野	0	0	0	0	0	0	0	0	3	2	1	0

居住地	合　計			
	小口	総合	延長	再貸付
旧八女	238	141	59	31
上陽	15	8	5	1
黒木	37	21	10	6
立花	32	15	6	3
矢部	6	4	1	1
星野	14	8	2	1

ウ　福祉貸付金の貸付業務

資金種類	貸付額	件　数
福祉貸付金	0 円	0 件
前年度貸付金額	0 円	0 件
比較増減	0 円	0 件

エ　法外援護資金貸付業務

資金種類	貸付額	件　数
法外援護資金	270,000 円	12 件
前年度貸付金額	443,000 円	21 件
比較増減	△173,000 円	△9 件

オ　委員会の開催

（ア）福祉資金貸付委員会

実施日	内　　容
7 月 1 日（水）	○　法外援護資金及び福祉貸付金の貸付状況、滞納者に対する督促状況について ○　滞納者に対する今後の対応について

⑪　地域公益事業の推進

ア　社会福祉法人連絡会との連携による社会貢献事業の推進

八女市内 24 の社会福祉法人による情報交換及び共有を図る場として、役員会議を開催した。今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、施設見学会や総会は実施していない。

4月の役員会では、社会福祉法人連携による地域福祉向上のための取り組み等について協議し、制度の狭間にいる世帯のごみ屋敷清掃及び7月3日（金）からの大雨により発生した豪雨災害による被災地の支援活動を行った。

実施日	会議及び事業	内　容
4月 15日（水）	役員会	令和2年度事業等について（ 4法人／9名 ）
6月　9日（火）	協働事業	ごみ屋敷清掃　（ 6法人／13名 ）
7月　9日（木）	被災地支援活動	災害ごみ出し・運搬等（ 3法人／17名 ）
8月　4日（火）	協働事業	ごみ屋敷清掃　（ 3法人／ 6名 ）
11月 24日（火）	協働事業	ごみ屋敷清掃（ 社協 6名　民生委員2名）
1月 18日（月）	協働事業	ごみ屋敷清掃（ 5法人／ 13名　民生委員2名）
2月　9日（火）	協働事業	ごみ屋敷清掃（市介護長寿課1名　社協13名　民生委員2名）

イ　ふくおかライフレスキュー事業への参加及び支援サポーターの配置

（ア）支援サポーターの配置

制度対応できない課題に対応するため、社会福祉法人の専門性を活かし、生活困窮者等に対する相談や支援事業を行う「ふくおかライフレスキュー事業」の主たる担い手であるサポーター3名を配置した。

（イ）ライフレスキュー部会による協働事業の推進

社会福祉法人の「公益性」「透明性」「公平性」を具体化する活動として、市福祉事務所や関係機関からの相談を通じて、ごみ屋敷への支援（清掃作業）活動を実施した。（※実績については⑪－アに掲載）

⑫　小地域福祉活動の推進

ア　小地域福祉活動の推進

（ア）民生委員児童委員等との連携による福祉活動の推進

福祉部会及び福祉委員の設置等について、民生委員児童委員の協力を得ながら、小地域福祉活動を推進した。

（イ）民生委員児童委員連絡協議会及び主任児童委員部会定例会への参加

○　民生委員児童委員連絡協議会校区会長会／毎月第1水曜日

○　民生委員児童委員連絡協議会校区定例会／毎月1回

○　主任児童委員部会定例会／隔月第3金曜日

新型コロナウイルス感染症拡大防止により、7月定例会から参加

（ウ）ふれあいサロン等地域の様々な場での情報提供

新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に配慮したサロン運営等の情報提供を行った。

（エ）地区福祉のつどいの推進

○　各地区福祉のつどい、福祉大会、福祉まつりへの参加協力　（回）

圏域	まち協設置数	申請数	前年度申請数	比較増減
八女	8	1	5	△4
上陽	1	0	1	△1
黒木	6	2	2	0
立花	4	1	2	△1

矢部	1	0	0	0
星野	1	0	0	0
合計	21	4	10	△6

イ　住民参加による地域福祉活動の基礎組織や担い手づくり

（ア）「福祉部会」（まちづくり団体等）　（箇所）

圏域	まち協設置数	福祉部会設置数	前年度設置数	比較増減
八女	8	3	5	△2
上陽	1	1	1	0
黒木	6	6	6	0
立花	4	2	2	0
矢部	1	1	1	0
星野	1	1	1	0
合計	21	14	16	△2

（イ）「福祉ネットワーク推進委員会」　（箇所）

圏域	設置数	前年度設置数	比較増減
八女	11	8	3
上陽	3	3	0
黒木	39	39	0
立花	13	11	2
矢部	0	0	0
星野	3	3	0
合計	69	64	5

（ウ）「福祉委員」（行政区等）　（人）

圏域	設置数	前年度設置数	比較増減
八女	9	6	3
上陽	31	31	0
黒木	91	92	△1
立花	56	56	0
矢部	6	6	0
星野	17	17	0
合計	210	208	2

○　福祉委員研修会の開催　4 回（前年度 5 回実施／比較増減△1 回）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、研修会は中止した。

実施日	実施地区	内　　容	参加者
6 月 29 日（月）	星野	◎福祉委員委嘱状交付（17 名） ◎懇談会 区長・民生委員児童委員・福祉委員三者懇談会	・行政区長 8 名 ・民生委員児童委員 17 名 ・福祉委員 15 名
6 月 29 日（月）	立花	◎福祉委員委嘱状を交付し、「福祉委員の手引き」を配布	・福祉委員 56 名

7月15日（水）	黒木	◎福祉委員委嘱状を交付 研修会の代替えとして「福祉委員活動のてびき～黒木編～」を作成し配布	・福祉委員91名
7月29（水）～31日（金）	上陽	◎各福祉委員の自宅にて委嘱状を交付するとともに、福祉委員の役割に関する資料を配布	・福祉委員31名

（エ）「見守り連絡員」（隣近所等）　（人）

圏域	設置数	前年度設置数	比較増減
八女	57	57	0
上陽	129	139	△10
黒木	270	271	△1
立花	150	134	16
矢部	9	11	△2
星野	0	0	0
合計	615	612	3

ウ　地域に出向いた相談支援や情報提供

福祉部会や福祉ネットワーク推進委員会等の場を活用し、地域課題の把握に努めた。

エ　要援護者等の個人情報に配慮しながら進める見守り活動等への支援

民生委員児童委員連絡協議会校区会長会及び定例会をはじめ、福祉部会や福祉ネットワーク推進委員会等の地域の集まりの中で、情報の共有やその範囲等を確認しながら、日常的な地域福祉活動を支援した。特に上半期は新型コロナウイルス感染症拡大防止により地域の福祉活動の自粛が相次ぎ、コロナ禍における地域福祉活動のすすめ方等について協議した。

⑬　社協会費（会員）・寄附金等を活用した地域福祉活動の支援

ア　社協会費

種　類	今年度		前年度		増　減	
住民会費	19,247件	3,849,300円	19,411件	3,882,100円	△164件	△32,800円
特別会費	25件	78,000円	24件	75,000円	1件	3,000円
合　計	19,272件	3,927,300円	19,435件	3,957,100円	△163件	△29,800円

イ　寄附金

種　類	今年度		前年度		増　減	
香典返し寄附	312件	8,706,000円	353件	10,642,000円	△41件	△1,936,000円
一般寄附	28件	2,224,944円	13件	1,347,354円	15件	877,590円
指定寄附	0件	0円	0件	0円	0件	0円
合　計	340件	10,930,944円	366件	11,989,354円	△26件	△1,058,410円

⑭　住民参加による地域福祉事業の推進（ふれあいのまちづくり事業）

ア　ふれあいサロン活動の支援

（ア）ふれあいサロン支援者養成講座の開催

期　間	会場	回数	参加者	内　　容
11 月 2 日(月)	八女	1	72 名	①心も体もリフレッシュ ガンバルーン活用講座 ②健康運動指導士によるサロンや自宅で簡単にできる体操講座 ③サロンで気軽にできるレクリエーション
11 月 16 日(月)	八女	1	86 名	
11 月 30 日(月)	八女	1	76 名	
合　計		3	234 名	
前年度		24	291 名	
比較増減		△21	△57 名	

※各支所においては新型コロナウイルス感染症拡大防止のため動画配信を行った。

（イ）ふれあいサロン運営費の助成及び立ち上げの支援　　（箇所）

圏域	行政区数	設置数	前年度設置数	比較増減	R2 新規
八女	87	41	43	△2	0
上陽	10	13	13	0	0
黒木	50	54	54	0	0
立花	25	19	19	0	0
矢部	6	13	14	△1	0
星野	8	9	9	0	0
合計	186	149	152	△3	0

（ウ）地区ふれあいサロン連絡会議及び交流会の開催

実施日	実施地区	参加者
3 月 10 日(水)	星野	16 名
3 月 10 日(水)	黒木	36 名
3 月 18 日(木)	上陽	11 名
3 月 22 日(月)	立花	15 名

※旧八女市地区は書面にて、矢部地区は代表者への個別面談にて対応

（エ）生活支援コーディネーターとの連携による地域課題及び支援ニーズの把握、地域人材・資源の発掘

コミュニティソーシャルワーカー（小地域福祉活動推進担当）との連携により実施したサロンアセスメントに基づき表面化された「サロンへ来ない人」に対する課題に対して、個別課題と地域課題の双方から地域支援体制をつくっていくことを確認した。特に新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地域福祉活動の自粛が相次ぐ状況下における高齢者等のひきこもりによる身体機能の虚弱化の予防及び精神面に配慮した見守り活動の方法等について協議した。

（オ）視察研修の受け入れ

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、視察研修の受け入れは行っていない。

⑮　住民参加による移動・外出支援の周知と推進

ア　福祉有償運送事業の実施

運転ボランティアの確保及び育成

（ア）支援者数（ボランティア）

○　黒木支所　19 名（前年度数 16 名／比較増減　3 名）

○　矢部支所　 8 名（前年度数　6 名／比較増減　2 名）

（イ）利用登録者数

○　黒木支所　43 名（前年度数 70 名／比較増減 △27 名）

○　矢部支所　29 名（前年度数 35 名／比較増減△6 名）

事業名	実施圏域	年度別	実施日数	延利用者数
福祉有償運送	黒木支所	本年度	215 日	430 名
		前年度数	249 日	494 名
		比較増減	△34 日	△64 名
	矢部支所 矢部支所	本年度	112 日	115 名
		前年度数	151 日	162 名
		比較増減	△39 日	△47 名

（ウ）地域福祉型福祉サービスに対する支援

特定非営利活動法人上陽ライフネットワークが行う福祉有償運送事業の協力支援を行った。

（エ）福祉有償運送運転者講習会の実施

○　開催日　　8 月 22 日（土）

○　会　場　　八女市黒木地域交流センター「ふじの里」

○　受講者の内訳

区　分	受 講 者 の 所 属	受講者数
福祉有償運送	黒木支所運転ボランティア	4 名
	黒木支所職員	3 名
	立花支所職員	2 名
	矢部支所職員	1 名
合　　計		10 名

⑯　地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築事業（市委託事業）

ア　地域力強化推進事業

（ア）福祉生活支援室（ほっと館やめ）の設置運営

本所（旧八女市＋立花）及び上陽支所（上陽＋黒木＋矢部＋星野）に生活困窮者支援事業等の拠点施設の設置として、支援員 5 名（旧八女 3 名／上陽 2 名）を配置した。

支援室内にはフードバンクとフリースペースを確保し、生活困窮者やひきこもり等の相談支援を行った。今年度から外国人の相談支援機能及び家計相談支援機能を追加し、生活困窮者等への包括的な支援を実施した。

ア）来所者・訪問者数　（件）

種　類	来所		訪問		電話		メール		合計	
	本所	上陽	本所	上陽	本所	上陽	本所	上陽	本所	上陽
不登校	88	0	2	0	3	1	0	0	93	1
ひきこもり	97	48	3	10	9	1	0	0	109	59
障がい	605	95	5	8	17	39	1	14	628	156
高齢者	25	35	0	7	2	3	0	0	27	45
生活困窮	77	17	9	6	16	4	0	0	102	27
相談機関	325	132	1	54	22	154	0	0	348	340
一般	254	21	0	0	10	16	0	0	264	37
外国人	47	1	0	0	5	0	1	0	53	1
合　計	1,518	349	20	85	84	218	2	14	1,624	666
前年度件数	1,686	250	32	16	65	32	0	0	1,783	298
比較増減	△168	99	△12	69	19	186	2	14	△159	368

イ）相談者　（件）

種　類	来所		訪問		電話		メール		合計	
	本所	上陽	本所	上陽	本所	上陽	本所	上陽	本所	上陽
本人	155	119	22	20	42	26	1	9	220	174
家族	15	13	0	15	11	15	0	0	26	43
関係機関	22	71	1	43	33	76	0	0	56	190
主任児童委員	0	2	0	1	0	2	0	0	0	5
民生委員	2	3	0	0	2	0	0	0	4	3
行政区長	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知人	0	2	0	0	1	0	0	0	1	2
住民	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0
外国人	31	0	0	0	4	0	1	0	36	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　計	225	210	23	79	95	119	2	9	345	417
前年度件数	284	115	38	23	77	21	0	0	399	159
比較増減	△59	95	△15	56	18	98	2	9	△54	258

ウ）相談経路　（件）

種　類	来所		訪問		電話		メール		合計	
	本所	上陽	本所	上陽	本所	上陽	本所	上陽	本所	上陽
本人	182	106	21	3	45	25	2	10	250	144
家族	17	16	1	15	11	12	0	0	29	43
関係機関	23	70	1	59	34	90	0	0	58	219
主任児童委員	0	1	0	0	0	1	0	0	0	2
民生委員	2	8	0	0	2	2	0	0	4	10

行政区長	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
知人	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
住民	1	0	0	0	3	0	0	0	4	0
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合　計	225	202	23	77	95	130	2	10	345	419
前年度件数	284	115	38	23	77	23	0	0	399	161
比較増減	△59	87	△15	54	18	107	2	10	△54	258

エ）相談内容　（件）

種　類		来所		訪問		電話		メール		合計	
		本所	上陽	本所	上陽	本所	上陽	本所	上陽	本所	上陽
介護		0	0	0	2	0	10	0	0	0	12
障がい		5	24	1	8	2	15	0	0	8	47
ひきこもり(一般)		22	47	5	10	12	8	0	0	39	65
家族問題		19	2	1	6	3	7	0	0	23	15
健康問題		12	12	0	2	3	15	0	5	15	34
社会参加		0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
子育て	不登校	10	2	2	2	4	6	0	0	16	10
	ひきこもり(高校まで)	4	0	0	1	0	0	0	0	4	1
	養育支援	4	2	0	0	2	4	0	0	6	6
	その他	0	0	1	0	2	0	0	0	3	0
経済困窮	フードバンク	49	53	9	9	10	10	0	0	68	72
	家計相談	8	8	9	2	6	4	0	0	23	14
	生活費(資金貸付)	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	就労	4	34	0	3	2	18	0	1	6	56
	年金	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	料理支援	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	その他	8	13	6	18	10	10	0	0	24	41
その他（生活支援）		96	15	0	15	12	8	2	0	110	38
合　計		241	214	34	78	68	118	2	6	345	416
前年度件数		284	111	38	25	77	21	0	0	399	157
比較増減		△43	103	△4	53	△9	97	2	6	△54	259

オ）行事

○　八女作業所との連携による、ひきこもり・精神障がい者等への生きがいづくりと社会参加の促進を図るため、ガーベラのラッピング及び販売協力支援を行った。(※毎週火曜日実施)

○　ひきこもり者への生活（家事）支援として、フードバンクの食品を活用した料理教室を 7～11 月に実施した。（延べ参加者数 47 名）（※9 月より毎月第 4 木曜日から第 3 火曜日に実施日変更）ほっと館やめ上陽では 3 月に実施した。（参加者 2 名）

○　ひきこもり者への支援として、株式会社マルミツサンヨーの協力をいただき、みかんの皮むき作業を実施した。

○　ひきこもりや不登校で外に出る機会がない方や何かきっかけがほしい方への支援として、地元の方の協力のもと、「ほっとフレンドふぁーむ」を開設し、ジャガイモの苗付け等の畑作業を通して参加支援を実施した。

カ）生活困難者支援連携会議の開催（月 1 回）

毎月第 2 月曜日に福祉生活支援室相談員及びコミュニティソーシャルワーカー、生活支援コーディネーターによる定例会議を行い、個別課題から地域課題の把握に努め、制度の狭間におかれている人の支援等について協議した。

キ）地域力強化推進事業連絡調整会議の開催（月 1 回）

コミュニティソーシャルワーカー、生活支援コーディネーター、ボランティアコーディネーター、福祉生活支援室相談員による定例会議を行い、他担当との連携の必要性や課題把握、地域支援等について協議した。

ク）広報啓発活動の推進

社協だよりに「ほっと館やめ」の掲載欄を設けて、活動内容等の情報発信に努めた。広報八女 8 月 1 日号及び 3 月 15 日号に「ほっと館やめ」についての記事が掲載された。

ケ）実務者研修会及び会議への参加

参加日	研修会／会議名
9 月 30 日（水）	相談援助に係る職員研修（内部研修会）

（イ）フードバンク事業の実施

市民への食品募集等、市民ベースのフードバンク事業の展開及び提供いただいたお菓子等の食品をコロナ禍により急増する生活困窮世帯へ提供する等、支援の拡充に努めた。

他にも、県内初の試みとしてエフコープ生協との連携により、生協会員を対象にしたフードドライブを実施する等、フードバンク事業の充実に努めるとともに、フードバンク事業の展開により、教育関係機関及び市担当課との連携強化につながり、制度の狭間におかれている人たちの相談支援を強化することができた。

ア）食品受取　（件）

種　類	来所		訪問		合計	
	本所	上陽	本所	上陽	本所	上陽
企　業	4	0	27	22	31	22
団　体	16	1	0	0	16	1

個　人	38	4	0	0	38	4
合　計	58	5	27	22	85	27
前年度件数	20	19	32	17	52	36
比較増減	38	△14	△5	5	33	△9

イ）食品提供　（件）

種　類	来所		訪問		合計	
	本所	上陽	本所	上陽	本所	上陽
個人世帯	180	80	3	12	183	92
子ども食堂	32	1	0	3	32	4
合　計	212	81	3	15	215	96
前年度件数	112	39	10	2	122	41
比較増減	100	42	△7	13	93	55

ウ）子ども食堂への支援

名　　称	支援内容
チャイルドサポートネットワーク	福岡八女農業協同組合や市民、八女市内の企業より提供いただいた米や食材等を各子ども食堂へ配布（※上半期は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、子ども食堂の開催が自粛されており、子ども食堂への提供は行っていない）
子ども食堂たちばな	
子ども食堂かたらんね	
黒木子ども食堂いこいの会	

エ）食品寄贈に係る協力団体及び覚書取り交し団体・内容（※掲載許可団体のみ）

団体名	内　　容
エフコープ生協	フードドライブによる食品寄贈（随時）
ローソン	棚卸残商品の寄贈（随時）
一般社団法人日本非常食推進機構	災害対策用備蓄物資の有効活用の協力に関する覚書締結
株式会社セブンイレブン	店舗閉店時の残商品の寄贈
ＮＰＯ法人フードバンク福岡	フードバンク福岡所有の食品の譲渡 （毎月第１・第３火曜日）

（ウ）学習支援活動の支援

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、子ども食堂が実施している学習支援活動に対する八女市内の高校生等、学習支援ボランティアのコーディネートは行っていないが、フリースペース利用者の不登校児童に対する学習支援を行った。

（エ）不登校・ひきこもりに関する相談支援の実施

家族会及び精神対話士等との連携による個別支援と居場所づくりの確保による社会参加の促進に努めた。

○　不登校・ひきこもり親（家族）の会「笑福（えふ）クラブ親の会」が主催する定

例会へ参加し、当事者や家族が抱える生活課題の把握に努めた。（毎月第 2 土曜日：13：30～15：30）

○　精神対話士 2 名による相談支援実施（※毎月第 2・第 4 木曜日：13：30～15：30）延 41 件（4～5 月、1～2 月に関しては新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、未実施）

（オ）教育関係機関及び相談支援機関との連携

八女市適応指導教室「あしたば」と連携し、「あしたば」に行くことができない生徒のフリースペースへの受入や「あしたば」が実施する社会参加の行事に協力し、相談支援体制を強化した。

実施日	内容	場所
11 月 9 日（月）	あしたば利用生徒によるほっと館やめ見学受入	ほっと館やめ
11 月 10 日（火）	あしたば利用生徒によるガーベラ作業体験	あしたば

（カ）外国人支援団体との連携による相談支援

外国人支援団体及び関係機関との連携により、八女市に居住する外国人の生活課題等の把握に努め、外国語版の相談窓口のチラシを配布する等、広報活動を強化しながら、個別支援の充実に努めた。

1 名の外国人が就労につながることができた。（相談対応実績　延 36 件）

拡充（キ）家計改善支援事業（市委託事業／生活困窮者自立支援事業）

相談者が自ら家計を管理できるよう、相談支援及び関係機関へのつなぎを行った。

○　利用契約者数　2 件（前年度利用契約者数 4 件/比較増減△2 件）

○　業務実績

・初回面談　7 件（内契約者数 2 件）

・家計支援計画作成　3 件 →（内契約 2 件）

・契約に係る自立相談支援調整会議への参加　2 件

・契約に至らず相談支援（見守り）を必要とする要支援者　3 件

○　実務者研修会への参加

・家計改善支援事業従事者研修（動画受講）1 名参加

イ　多機関の協働による包括的支援体制構築事業

複合的な課題を抱える個別課題に対して、分野を超えた専門性、利便性の高い相談支援機能を発揮するため、日常生活圏域（旧市町村）に 1 名ずつ、包括的な相談支援体制を構築する人材を配置した。

（ア）相談支援包括化推進員（まるごとサポーター）の配置　6 名

（イ）相談支援包括化推進員会議の実施／毎月第 3 水曜日

（ウ）各分野相談支援に係るコーディネーター（調整機関）連絡会の開催

実施日	内　容	参加者数
11 月 26 日（木）	社会福祉法人グリーンコープ職員による講義及び事例検討 演題　「多機関連携の必要性について～就労・ひきこもり支援に取り組むグリーンコープの事例～」	27 名

⑰　災害ボランティアセンターの基盤整備

ア　災害時相互協力協定団体との連携及び連絡会の開催

災害時相互協力協定に基づき、災害時に災害ボランティア活動等の被災者支援活動を協力して行うために、講師を招き、「八女ライオンズクラブ」「黒木ライオンズクラブ」「八女青年会議所」「特定非営利活動法人がんばりよるよ星野村」「特定非営利活動法人山村塾」と災害時の協力体制づくり及び連携方法等を確認する研修と意見交換会を行った。

実施日	内　　容	参加者
6月25日（木）	◎意見交換 ・各団体間で連携できる支援内容及び連絡体制の確認 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止に配慮した災害ボランティアセンター設置について	11名

イ　福岡県社会福祉協議会や近隣社会福祉協議会との連携

令和2年7月豪雨災害により被災した大牟田市に対して、福岡県社会福祉協議会と連携し、大牟田市災害ボランティアセンターの運営支援のため、本会職員を派遣した。

実施日	派遣先	延日数	人員	主な活動内容
7月14日（火）	本部	1日	2人	受付、ニーズ調査、現地調査、マッチング
8月2日（日）～7日（金）	本部	6日	3人	受付、ニーズ調査、現地調査、マッチング
合　計		7日	5人	

ウ　災害ボランティアセンター運営マニュアルの活用

令和2年3月に改訂版を作成し、令和2年7月豪雨災害では、初期対応や様式等、マニュアルを活用した。

エ　令和2年7月豪雨災害における八女市内での被災支援

7月5日（日）からの大雨により発生した豪雨災害による被災世帯に対し、八女市社会福祉法人連絡会レスキュー部会及び災害時相互協力協定団体（JC、NPO 法人がんばりよるよ星野村）と協働し、災害ごみ出し等の被災地支援活動を行った。

実施日	活動地区	延人員	主な活動内容
7月8日（水）～9日（木）	山下地区（立花）	37人	ニーズ調査、マッチング、災害ごみ出し、拭き掃除、家財出し等
7月8日（水）	桐葉地区（立花）	9人	
7月15日(水)～29日(水)	中村・鬼塚地区（矢部）	51人	ニーズ調査、マッチング、災害ごみ出し、土砂だし等
8月8日（土）	中切畑地区（矢部）	13人	土砂だし
合　計		110人	

⑱　福祉教育活動の推進（ふれあいのまちづくり事業）

ア　暮らしと福祉の講座の開催

今年度は、星野エリアにおいて身近に潜む消費者トラブルについて、日常的に高齢者と接する機会が多い地域サロンの支援者の方を対象に開催した。

実施日	内　　容	参加者
3 月 10 日（水）	◎講演 内容「身近に潜む消費者問題について」 講師　八女市消費生活センター 早田　怜 氏	16 人

イ　福祉教育教材「ともに生きる」の活用促進（前年度配布数 573 冊／比較増減 1 冊）

市内の小学校 3 年生を対象とし、574 冊を配布した。

ウ　福祉体験学習・講座の支援（小・中・高等学校等）

（ア）福祉体験学習・講座への協力　（全 13 件）（前年度 16 件/比較増減△3 件）

実施日	学校名	内　　容
6 月 29 日（月）	八幡小学校	車椅子体験
7 月 6 日（月）	八幡小学校	視覚障がい者との交流
7 月 28 日（火）	上陽北汭学園	車椅子体験・高齢者疑似体験
8 月 25 日（火）	福島小学校	車椅子体験
10 月 16 日（金）	輝翔館中等教育学校	認知症カフェの紹介・車椅子体験
11 月 25 日（水）	上妻小学校	車椅子体験
12 月 11 日（金）	三河小学校	車椅子体験・聴覚障がい者との交流
1 月 20 日（水）	黒木小学校	車椅子体験
2 月 22 日（月）	星野小学校	車椅子体験
2 月 25 日（木）	忠見小学校	車椅子体験・聴覚障がい者との交流
3 月 5 日（金）	黒木小学校	聴覚障がい者との交流
3 月 9 日（火）	川崎小学校	車椅子体験
3 月 10 日（水）	川崎小学校	聴覚障がい者との交流

⑲　当事者団体の組織化と活動の活性化

ア　在宅介護者の会活動への協力（ふれあいのまちづくり事業）

（ア）家族の介護について考える講座の開催（0 回）（前年度 5 回実施/比較増減△5 回）

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、講座は中止した。

イ　不登校・ひきこもり親（家族）の会活動への協力

不登校・ひきこもり親の会が実施するつどいの支援をはじめ、電話や来所等による、不登校やひきこもりに関する相談に応じ、精神対話士や適切な支援機関へつなぐ等、ひきこもり支援を推進した。

⑳　各福祉事業（団体）の活動支援

ア　高齢者福祉事業の推進

（ア）老人クラブ活動への協力支援

イ　障がい者福祉事業の推進

（ア）身体障害者福祉協会への協力支援
（イ）福祉作業所への協力支援
（ウ）視覚障害者福祉協会活動への協力支援
（エ）聴覚しょうがい者協会への協力支援
（オ）精神障害者家族会への協力支援
（カ）当事者団体等への協力支援

ウ　母子寡婦福祉事業の推進
（ア）母子寡婦福祉会活動への協力支援
（イ）母子・父子ふれあい事業への協力支援

エ　青少年健全育成事業や児童福祉活動への協力
（ア）子ども会事業への協力支援
（イ）青少年健全育成事業への協力

オ　その他の福祉活動への協力支援
（ア）保護司会への活動支援
（イ）遺族連合会活動への協力

㉑　八女市合同金婚式事業の実施（市委託事業）
結婚 50 周年を迎えられた八女市内に居住の方を対象に、今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため会場を 3 カ所に分散して開催した。

実施日	会場	参加者	前年度	比較増減
11 月 22 日(日)	ガーデンホール矢部川城	37 組	55 組	14 組
	くつろぎの森グリーンピア八女	25 組		
	池の山荘	7 組		
合　　計		69 組		

㉒　世代間交流事業の実施
矢部地区（事業実施場所）老人クラブ会員をはじめ、矢部保育園児及び矢部清流学園 1・2 年生、地域住民、特養入所者を交えての世代間交流事業「ふれあい田んぼ」を実施した。

実施日	内　容	参加者
6 月 11 日(木)	田植え	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、委託農家で実施
10 月 15 日(木)	稲刈り	48 名

㉓　ボランティアセンター活動推進事業
ア　広報啓発活動の充実
やめ社協だよりの中で、ボランティアセンターに関する内容を掲載した。

イ　ボランティアセンターの運営強化
専従ボランティアコーディネーターの配置　1 名

ウ　ボランティアの育成

（ア）点訳活動推進の支援

（イ）手話活動推進の支援

（ウ）要約筆記ボランティア活動への支援

（エ）音訳ボランティア活動への支援

（オ）配食サービスボランティア活動への支援

（カ）八女市ふれあいサロン支援者の会への支援

（キ）ふれあいサロン地域支援団体への支援

（ク）生きがいデイサービスボランティア活動への支援

（ケ）傾聴ボランティア活動への支援

（コ）ボランティア連絡協議会活動への支援

エ　ボランティア登録の推進とボランティア保険の加入促進

社協ボランティアセンターの登録者に対し、ボランティア保険の加入促進と助成を行った。

（ア）　ボランティア登録者数

区分	個人	団体	総数
八女	1	28	216 名
上陽	1	4	44 名
黒木	1	11	127 名
立花	1	0	1 名
矢部	0	1	13 名
星野	0	2	83 名
市外	1	0	1 名
合計	5 名	46 団体	485 名
前年度数	15 名	41 団体	567 名
比較増減	△10 名	5 団体	△82 名

オ　ボランティアコーディネート機能の強化

（ア）ボランティア活動についての相談、斡旋

○　ボランティアの派遣調整件数 129 件（前年度件数 349 件／比較増減△220 件）

ふれあいサロンへのボランティア派遣を中心とした需給調整をはじめ、ボランティア活動を希望する人等への対応を随時実施した。

（イ）福祉活動に関するボランティア活動団体の登録整備

現在活動している団体の紹介をはじめ、登録の見える化を行うため、ボランティアセンターに登録している団体の冊子化の更新を行った。

カ　各種ボランティア講座等の開催

（ア）傾聴ボランティア養成講座の開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため市民を対象にした養成講座は行わずに、傾聴ボランティア「八女ダンボ」の会員のみで内部研修を実施した。

新規キ　生活支援コーディネーターとの連携による生活支援ボランティアの育成

（ア）生活支援ボランティア活動の推進

サロンアセスメント等で表面化された生活課題に対して、生活支援ボランティアの登録を推進するため、説明会を開催した。

実施日	内　　容	参加者
8 月 26 日（水）	「事業実績及び支援員登録等について」	4 名

○　協力者登録数

登録エリア	登録者数
旧八女	4 名

（イ）外出支援ボランティアの確保

福祉有償運送事業の運転ボランティアを確保し、移動困難者への支援体制づくりをすすめた。

ク　農福連携による障がい者等の社会参加の推進（市委託事業）

（ア）農福連携のコーディネート

福岡八女農業協同組合（なす広域選果場）から依頼された作業（なすの選果等）とそれを受託する八女市内就労継続支援事業所（5 事業所）との需給調整を行った。

○　参加事業所

・就労継続支援Ａ型事業所　さんふらわあ広川
・障がい者支援センター　こころ
・就労継続支援Ｂ型事業所　八女作業所
・就労継続支援Ｂ型事業所　そらいろ
・多機能型事業所　ワークスペース蓮

（イ）関係機関との調整会議への参加

参加日	内　　容	参加団体
12 月 14 日（月）	農福連携部会	事務局（市福祉課・社協）、ＪＡ、八女普及指導センター、八女作業所、陽だまりの里こころ、デュナミス、リーベル

㉔　その他の事務・事業部門

ア　福岡県共同募金会八女市支会の運営

（ア）八女市支会理事会年 2 回・配分委員会年 2 回の開催

○　第 1 回配分委員会　6 月 5 日（金）開催
○　第 1 回理事会　　書面表決にて開催
○　第 2 回配分委員会　2 月 12 日（金）開催
○　第 2 回理事会　　書面表決にて開催

（イ）共同募金運動の実施

○　各種募金活動の実施

戸別募金、街頭募金、資材募金、法人募金、イベント募金、自動販売機による募金を10月1日より実施。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、八女市内の事業所が休業等になった状況を鑑み、第1回配分委員会及び理事会にて法人募金については積極的な依頼を自粛することを決定。

○　募金推進及び募金運動啓発のための八女市オリジナル事業の実施

10 月 1 日から、福岡県共同募金会八女市支会の独自事業として、八女市内の小中高校生、障がい者支援施設に標語及びイラストを募集し、8 月末までに応募作品 367 点を回収した。

○　6 月 29 日（月）　校長会にて事業の説明と依頼を行った。

○　8 月 28 日（金）、31 日（月）　1 次審査の実施

○　9 月 1 日（火）　2 次審査の実施

○　9 月 2 日（水）　本審査の実施

標語、イラスト最優秀賞 1 点、優秀賞 2 点を決定。受賞作品は、八女市独自のクリアファイルやポケットティッシュ用チラシ、カレンダーに活用。各受賞者へは、支会長より八女市内の小中学校 3 校、障がい者 1 施設にて表彰式を実施した。

（ウ）歳末たすけあい募金運動の実施

○　戸別募金、その他の募金による募金活動を 12 月 1 日より 1 ヶ月間実施。

（エ）八女市支会の運営事務

○　各行政区へ依頼（行政区長及び隣組長へ募金協力依頼・ポスター掲示依頼）

○　八女市民生委員児童委員連絡協議会にて、各地区の法人へ法人募金の依頼文書配布の依頼を例年行っていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、配布依頼は行っていない。

イ　日本赤十字社八女市地区の運営

（ア）　八女市地区の会費（会員）募集活動

種　類	今年度		前年度		増　減	
日赤会費	12,866 件	6,577,523 円	13,088 件	6,711,105 円	△222 件	△133,582 円
個人寄附	1 件	3,000 円	2 件	8,000 円	△1 件	△5,000 円
合　計	12,867 件	6,580,523 円	13,090 件	6,719,105 円	△223 件	△138,582 円

（イ）八女市地区の運営事務

○　各行政区へ依頼（行政区長及び隣組長へ会費協力依頼）

例年6月より募集依頼を行っていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、募集時期を 2 ヶ月間延期して 8 月 1 日から募集依頼を行った。

○　報償費（協力額の 6%）の配布

ウ　八女市献血推進協議会の運営

（ア）八女市献血推進協議会の開催

○　期　日／書面決議にて開催

○　出席者／15 人

○　内　容／主に献血事業報告、会計決算報告、事業計画、予算について

（イ）　献血（地域献血・職域献血・学域献血）の実施

○　地域献血

実施日	地区	会　場	今年度実績			不採血者数
			回数	受付数	献血者数	
7 月 3 日（金）	星野	八女市星野総合保健福祉センター「そよかぜ」	1 回	41 人	40 人	1 人
7 月 22 日（水）	黒木	八女市黒木地域交流センター「ふじの里」	1 回	113 人	103 人	10 人
8 月 7 日（金）	福島	八女市民会館「おりなす八女」	1 回	120 人	106 人	14 人
8 月 24 日（月）	立花	八女市立花市民センター	1 回	69 人	63 人	6 人
9 月 1 日（火）	八幡	八女市西公民館	0.5 回	13 人	12 人	1 人
9 月 2 日（水）	川崎	八女市東公民館	0.5 回	15 人	13 人	2 人
9 月 11 日（金）	上陽	八女市農業活性化センター	0.5 回	36 人	34 人	2 人
9 月 14 日（月）	矢部	八女市矢部公民館	1 回	26 人	23 人	3 人
10 月 19 日(月)	忠見	株式会社熊谷光玉園	1 回	50 人	45 人	5 人
10 月 26 日(月)	岡山	室岡公民館	1 回	34 人	31 人	3 人
11 月 2 日(月)	三河	三河小学校	0.5 回	22 人	20 人	2 人
11 月 20 日(金)	黒木	八女市黒木地域交流センター「ふじの里」	1 回	103 人	93 人	10 人
11 月 29 日(日)	上妻	ポピー製紙株式会社	1 回	44 人	40 人	4 人
12 月 15 日(火)	福島	八女市民会館「おりなす八女」	1 回	112 人	103 人	9 人
2 月 25 日(木)	岡山	室岡公民館	1 回	46 人	42 人	4 人
3 月 8 日(月)	忠見	株式会社熊谷光玉園	1 回	48 人	46 人	2 人
3 月 16 日(火)	立花	八女市立花市民センター	1 回	56 人	54 人	2 人
3 月 19 日(金)	黒木	八女市黒木地域交流センター「ふじの里」	1 回	107 人	98 人	9 人
3 月 25 日(木)	上陽	八女市農業活性化センター	0.5 回	23 人	21 人	2 人
3 月 25 日(木)	上妻	八女市総合体育館	0.5 回	21 人	21 人	0 人
3 月 29 日(月)	三河	三河小学校	0.5 回	10 人	9 人	1 人
3 月 29 日(月)	長峰	マンガ倉庫八女店	0.5 回	20 人	19 人	1 人
合　計	22 会場		18 回	1,129 人	1,036 人	93 人

○　職域献血

実施日	会　場	今年度実績			不採血者数
		回数	受付数	献血者数	
4 月 16 日（木）	ゆめタウン八女（八女ライオンズクラブ主催）	1 回	170 人	161 人	9 人
7 月 31 日（金）	八女建設会館	1 回	79 人	76 人	3 人

9 月 1 日（火）	フジキ工芸	0.5 回	26 人	26 人	0 人
9 月 2 日（水）	ＪＡふくおか八女	0.5 回	40 人	34 人	6 人
10 月 13 日(火)	八女総合庁舎	0.5 回	20 人	17 人	3 人
10 月 13 日(火)	公立八女総合病院	0.5 回	33 人	27 人	6 人
11 月 12 日(木)	八女ライオンズクラブ主催 ゆめタウン八女	1 回	190 人	175 人	15 人
3 月 9 日(火)	八女総合庁舎	0.5 回	24 人	24 人	0 人
3 月 9 日(火)	公立八女総合病院	0.5 回	34 人	32 人	2 人
3 月 10 日(水)	JA ふくおか八女本店	0.5 回	39 人	33 人	6 人
合　計	10 会場	6.5 回	655 人	605 人	50 人

○　街頭献血

実施日	会　場	今年度実績			不採血者数
		回数	受付数	献血者数	
4 月 14 日 （火）	ゆめタウン八女	1 回	85 人	79 人	6 人
5 月 4 日（月）	ゆめタウン八女	1 回	133 人	113 人	20 人
5 月 20 日（水）	ドラックストアモリ納楚店	1 回	38 人	34 人	4 人
8 月 2 日（日）	ゆめタウン八女	1 回	87 人	71 人	16 人
9 月 21 日（月）	ゆめタウン八女	1 回	81 人	76 人	5 人
12 月 29 日(火)	ゆめタウン八女	1 回	77 人	71 人	6 人
合　計	6 会場	6 回	501 人	444 人	57 人

○　学域献血

実施日	会　場	今年度実績			不採血者数
		回数	受付数	献血者数	
11 月 9 日(月)	西日本短期大学附属高校	0.5	44	35	9
12 月 15 日(火)	福島高等学校	0.5	40	35	5
3 月 1 日(月)	八女学院高等学校	1	42	39	3
合　計	3 会場	2	126	109	17

（ウ）　八女市献血推進協議会の運営事務

○　各行政区へ依頼（行政区長へ協力依頼・ポスター掲示依頼及び隣組回覧チラシで周知）

○　各地区事業所を訪問し、協力依頼及びポスター掲示依頼

○　社協だより及び社協ホームページ、八女市広報紙に掲載

○　ＦＭ八女を活用し、献血実施の放送

○　献血開催地区において、献血開催日の１週間前と当日に、広報車による献血の呼びかけを実施

（３）在宅福祉サービス部門受託事業

① 八女市高齢者生活福祉センター居住部門事業

高齢者生活福祉センターで、生活援助員を配置し居住部門の運営を行った。行事は、誕生会、敬老会、会食会及びお彼岸参り等を行った。

ア 矢部支所（令和 3 年 3 月 31 日現在）

室数	男性入居者	女性入居者	入居者計	日中援助員	夜間援助員
20 室	3 名	12 名	15 名	2 名	1 名

イ 星野支所

室数	男性入居者	女性入居者	入居者計	日中援助員	夜間援助員
9 室	4 名	5 名	9 名	1 名	1 名

② シルバーハウジングＬＳＡ派遣事業＜矢部支所＞

高齢者生活福祉センターに生活援助員を配置。平日午後に訪問し安否確認等を行う。各部屋に緊急通報システムがあり、緊急時の対応を生活援助員が行う。

（令和 3 年 3 月 31 日現在）

室数	男性入居者	女性入居者	入居者計
10 室	4 名	3 名	7 名

③ 生きがいデイサービス事業の実施

高齢者の生きがいデイサービスを実施した。但し、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4 月下旬から 5 月末まで訪問や電話による安否確認を実施した。※（ ）内は訪問・電話による安否確認の内訳。

支所名	実施日数	実利用者数	延べ利用者数	前年度利用数	比較増減
上陽 （訪問・電話）	24 日 （内 6 日）	185 名	334 名 （内 75 名）	351 名	△17 名
黒木 （訪問・電話）	201 日 （内 100 日）	1,617 名	3,164 名 （内 1,391 名）	2,638 名	526 名
立花 （訪問・電話）	96 日 （内 38 日）	923 名	1,752 名 （内 488 名）	1,685 名	67 名
矢部 （訪問・電話）	49 日 （内 6 日）	158 名	281 名 （内 31 名）	207 名	74 名
星野 （訪問・電話）	85 日 （内 30 日）	655 名	1,201 名 （内 297 名）	1,375 名	△174 名
合 計	455 日 （内 180 日）	3,538 名	6,732 名 （内 2,282 名）	6,256 名	476 名

④ 配食サービス事業

高齢者等の配食サービスを実施した。

（実施曜日：月曜日～土曜日）

支所名	実施日数	配食実人員 （月平均）	延べ配食数	前年度 延べ配食数	比較増減
上陽	292 日	13.5 名	1,980 食	1,882 食	98 食
立花	293 日	21.7 名	4,171 食	4,237 食	△ 66食
星野	242 日	11.9 名	1,271 食	578 食	693 食
合 計	827 日	47.1 名	7,422 食	6,697 食	725 食

⑤　高齢者生活支援ヘルパー派遣事業＜立花支所＞

生活支援のホームヘルパーを派遣した。

派遣回数	実利用者数	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
608 回	147 名	348 名	298 名	50 名

⑥　外出支援サービス事業＜星野支所＞

高齢者等の外出支援サービスを実施した。

実施日数	実利用者数	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
31 日	9 名	31 名	27 名	4 名

（4）在宅福祉サービス部門介護保険事業

①　訪問介護事業＜立花支所＞

介護保険事業の訪問介護サービスを実施した。

区　分	実利用者数	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
介護サービス	555 名	4,704 名	5,870 名	△1,166 名
第 1 号訪問事業	757 名	4,143 名	4,448 名	△305 名
合　計	1,312 名	8,847 名	10,318 名	△1,471 名

②　通所介護事業

介護保険事業の通所介護サービスを実施した。

ア　上陽支所（地域密着型）

区　分	実施日数	実利用者数	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
介護サービス	254 日	159 名	1,762 名	1,988 名	△226 名
第 1 号通所介護（相当サービス）	254 日	52 名	288 名	360 名	△72 名
第 1 号通所介護（サービス A）	78 日	24 名	57 名	114 名	△57 名
合　計	586 日	235 名	2,107 名	2,462 名	△355 名

※3 月下旬に、第 2 回地域密着型運営推進会議を開催予定だったが、新型コロナ感染拡大防止のため、中止とした。

イ　立花支所

区　分	実施日数	実利用者数	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
介護サービス	305 日	343 名	3,659 名	4,066 名	△407 名
第 1 号通所介護（相当サービス）	305 日	189 名	1,128 名	781 名	347 名
第 1 号通所介護（サービス A）	142 日	98 名	369 名	359 名	10 名
合　計	752 日	630 名	5,156 名	5,206 名	△50 名

ウ　矢部支所（地域密着型）

区　分	実施日数	実利用者数	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
介護サービス	239 日	194 名	1,709 名	2,116 名	△407 名
第１号通所介護（相当サービス）	239 日	174 名	903 名	781 名	122 名
第１号通所介護（サービス A）	41 日	15 名	54 名	0 名	54 名
合　計	519 日	383 名	2,666 名	2,897 名	△231 名

※9 月 17 日　第 1 回運営推進会議開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止（9/3 矢部校区民児協定例会にて会議内容報告）

※3 月 25 日　第 2 回運営推進会議開催予定だったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止（4/8 矢部校区民児協定例会にて会議内容報告予定）

エ　星野支所

区　分	実施日数	実利用者数	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
介護サービス	254 日	322 名	3,393 名	3,069 名	324 名
第１号通所介護（相当サービス）	253 日	211 名	1,229 名	1,061 名	168 名
第１号通所介護（サービス A）	78 日	22 名	82 名	217 名	△135 名
合　計	585 日	555 名	4,704 名	4,347 名	357 名

③　居宅介護支援事業「ケアプランサービス」

介護保険事業のケアプランサービスを実施した。

支所名	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減	当年度加算取得件数（延べ利用者の内数）				
				初回	入院連携Ⅰ	入院連携Ⅱ	退院退所	その他加算
黒　木	黒木　645 名 上陽　0 名 矢部　106 名 計　751 名	643 名	108 名	24 件	26 件	2 件	15 件	0 件
立　花	立花　729 名 旧八女　163 名 計　892 名	959 名	△67 名	23 件	15 件	6 件	5 件	0 件
星　野	星野　444 名 上陽　222 名 計　666 名	599 名	67 名	17 件	13 件	2 件	1 件	2 件
合　計	2,309 名	2,201 名	108 名	64 件	54 件	10 件	21 件	2 件

（５）在宅福祉サービス部門障がい者介護事業

①　障害者居宅介護事業＜立花支所＞

障害者総合支援事業の居宅介護サービスを実施した。

実施日数	実利用者数	延べ利用者数	前年度延べ利用数	比較増減
309 回	165 名	1,471 名	1,411 名	60 名

（６）福祉施設サービス部門

①　特別養護老人ホームゆいのもり＜矢部支所＞

介護保険事業の特別養護老人ホーム「ゆいのもり」（定員 30 名）を運営した。

ア　延べ入所者数

延べ入所者数	延べ入所日数	前年度延べ入所日数	比較増減
364 名	10,470 日	10,776 日	△306 日

イ　入所者の要介護度（3/31 現在）

要介護１	要介護２	要介護３	要介護４	要介護５	合　計
0 名	1 名	12 名	13 名	3 名	29 名

ウ　9 月 16 日（水）老人福祉施設指導監査及び指定介護老人福祉施設等実地指導

②　短期入所生活介護＜矢部支所＞

特別養護老人ホームゆいのもりで介護保険事業の短期入所生活介護サービスを実施した。

ア　利用者数

区　分	実利用者数	延べ利用日数	前年度延べ利用日数	比較増減
介護サービス	17 名	1,204 日	1,230 日	△26 日
予防サービス	3 名	30 日	21 日	9 日
合　計	20 名	1,234 日	1,251 日	△17 日

イ　八女市高齢者生活管理指導短期宿泊事業　実利用者 1 名　延べ利用日数 6 日

③　授産所麻生園＜星野支所＞

社会事業授産施設「授産所麻生園」（定員 50 名の通園施設）を運営した。

（令和 3 年 3 月 31 日現在）

ア　利用者数

被保護利用者	Ｂ型利用者	合　計
39 名	4 名	43 名

イ　行事・会議

主な行事等	主な会議、研修等
避難訓練 1 回目（風水害・火災想定） 避難訓練 2 回目（地震・火災想定） 誕生会（奇数月）	連携会議（月 1 回） 経営会議（連携会議後） 社会福祉施設における新型コロナウイルス感染症クラスター発生事例 URL 視聴研修

ウ　授産科目

授産科目	内　　容
印刷事業	オフセット印刷（組版、印刷、製本）
加工事業	提灯房作り、紙箱組立、線香巻き、破魔矢組立、お守り組立、ろうそく詰め、みかん皮むき作業他
葬祭事業	霊柩車運行、葬祭用具・会葬礼状販売
受託事業	総合保健福祉センター「そよかぜ」お風呂掃除
その他の事業	斡旋商品（お茶・緊急避難セット）他

（７）施設管理運営部門

① 八女市社会福祉会館の管理運営＜本所＞

八女市社会福祉会館の管理運営を行った。

ア 貸室利用者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料利用者	1,840 名	2,945 名	△1,105 名
無料利用者	3,665 名	9,072 名	△5,407 名
計	5,505 名	12,017 名	△6,512 名

② 八女市地域福祉センターの管理運営（指定管理）＜上陽支所＞

八女市地域福祉センターの管理運営を行った。

ア 貸室利用者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料利用者	342 名	291 名	51 名
無料利用者	1,708 名	2,202 名	△494 名
計	2,050 名	2,493 名	△443 名

イ 入浴者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料入浴者	3,210 名	3,993 名	△783 名
無料入浴者	29 名	19 名	10 名
計	3,239 名	4,012 名	△773 名

③ 八女市黒木地域交流センターの管理運営（指定管理）＜黒木支所＞

八女市黒木地域交流センターの管理運営を行った。

ア 貸室利用者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料利用者	2,980 名	5,269 名	△2,289 名
無料利用者	11,401 名	18,823 名	△7,422 名
計	14,381 名	24,092 名	△9,711 名

イ 入浴者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料入浴者	22,737 名	41,043 名	△18,306 名
無料入浴者	0 名	87 名	△87 名
計	22,737 名	41,130 名	△18,393 名

ウ トレーニングルーム利用者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料利用者	1,563 名	2,808 名	△1,245 名
無料利用者	1,773 名	2,688 名	△915 名
計	3,336 名	5,496 名	△2,160 名

エ 直売所事業（収益事業）

延べ売上額	前年度延べ売上額	比較増減
5,011,187 円	8,180,330 円	△3,169,143 円

④ 八女市立花総合保健福祉センターの管理運営（指定管理）＜立花支所＞

八女市立花総合保健福祉センターの管理運営を行った。

ア　貸室利用者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料利用者	5,000 名	9,629 名	△4,629 名
無料利用者	3,429 名	6,588 名	△3,159 名
計	8,429 名	16,217 名	△7,788 名

イ　入館・入浴者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料入館・入浴者	14,145 名	23,681 名	△9,536 名
無料入館・入浴者	8,372 名	16,008 名	△7,636 名
計	22,517 名	39,689 名	△17,172 名

ウ　売店事業（収益事業）

延べ売上額	前年度延べ売上額	比較増減
2,107,269 円	3,208,839 円	△1,101,570 円

エ　食堂事業（収益事業）

延べ売上額	前年度延べ売上額	比較増減
11,008,560 円	13,621,814 円	△2,613,254 円

⑤　八女市高齢者生活福祉センターの管理運営（指定管理）＜矢部支所＞

八女市矢部高齢者生活福祉センター及び健康増進施設の管理運営を行った。健康増進施設では買物支援の店を開店した。（毎週火・木：平成 30 年度より）

ア　貸室利用者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料利用者	0 名	0 名	0 名
無料利用者	144 名	158 名	△14 名
計	144 名	158 名	△14 名

⑥　八女市星野総合保健福祉センターの管理運営（指定管理）＜星野支所＞

八女市星野総合保健福祉センターの管理運営を行った。

ア　貸室利用者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料利用者	5,111 名	12,251 名	△7,140 名
無料利用者	3,615 名	5,107 名	△1,492 名
計	8,726 名	17,358 名	△8,632 名

イ　入浴者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料入浴者	12,664 名	21,124 名	△8,460 名
無料入浴者	1,953 名	3,103 名	△1,150 名
計	14,617 名	24,227 名	△9,610 名

ウ　トレーニングルーム利用者

区分	延べ利用者数	前年度延べ利用者数	比較増減
有料利用者	174 名	355 名	△181 名
無料利用者	5,633 名	6,288 名	△655 名
計	5,807 名	6,643 名	△836 名

エ　売店事業（収益事業）

延べ売上額	前年度延べ売上額	比較増減
5,052,198 円	7,719,063 円	△2,666,865 円

（８）葬祭事業部門（収益事業）

①　葬祭品の販売

葬祭品の販売を行った。

ア　矢部支所

売上件数	延べ売上額	前年度延べ売上額	比較増減
23 件	2,346,290 円	862,990 円	1,483,300 円

イ　星野支所

売上件数	延べ売上額	前年度延べ売上額	比較増減
18 件	1,913,328 円	3,263,530 円	△1,350,202 円

②　霊柩車運行事業

霊柩車の運行事業を行った。

ア　黒木支所

運行件数	延べ収入額	前年度延べ収入額	比較増減
102 件	1,020,000 円	1,030,000 円	△10,000 円

イ　矢部支所

運行件数	延べ収入額	前年度延べ収入額	比較増減
24 件	329,400 円	258,120 円	71,280 円

ウ　星野支所

運行件数	延べ収入額	前年度延べ収入額	比較増減
16 件	376,200 円	484,800 円	△108,600 円

（９）環境衛生事業部門

①　自給肥料供給施設の管理運営（指定管理）＜星野支所＞

自給肥料供給施設の管理運営を行った。

ア　し尿等投入量

し尿	浄化槽汚泥	延べ投入量	前年度延べ投入量	比較増減
1,004 KL	1,342 KL	2,346 KL	2,392 KL	△46KL

イ　液肥散布量

田畑	山林その他	延べ散布量	前年度延べ散布量	比較増減
16.2 KL	2,300 KL	2,316 KL	2,421 KL	△105 KL